

埼玉県景気動向指数

令和元(2019)年12月分の概要

令和2年2月28日
埼玉県総務部統計課

1 基調判断

- 景気動向指数（C I一致指数）は、悪化を示している。

2 指数の動き

- 12月のC Iは、先行指数：106.8、一致指数：89.7、遅行指数：102.1となった。
(平成27年=100)
- 先行指数は、前月と比較して2.2ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は、2.17ポイント上昇し、2か月連続の上昇、7か月後方移動平均は、0.66ポイント下降し、8か月連続の下降となった。
- 一致指数は、前月と比較して0.6ポイント下降し、4か月連続の下降となった。3か月後方移動平均は、2.00ポイント下降し、6か月連続の下降、7か月後方移動平均は、1.84ポイント下降し、16か月連続の下降となった。
- 遅行指数は、前月と比較して2.8ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。3か月後方移動平均は、0.30ポイント上昇し、5か月ぶりの上昇、7か月後方移動平均は、0.10ポイント下降し、4か月連続の下降となった。

3 一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C7: 県百貨店・スーパー商品販売額	0.19	C9: 県耐久消費財出荷指数	-0.31
C4: 県有効求人倍率(除学卒)	0.04	C8: 県生産財出荷指数	-0.17
		C6: 県建築着工床面積(非居住用)	-0.11
		C2: 県所定外労働時間指数(調査産業計)	-0.09
		C1: 県生産指数(製造工業)	-0.06
		C5: 県雇用保険初回受給者数(逆サイクル)	-0.03

※ C3: 県投資財出荷指数は、寄与度なし(0.00)。

※ 各個別系列のウェイトは均等です。

4 一致指数の推移

